



西荻窪きらきら保育園

重要事項説明書

## 1. 保育理念・方針・目標

### ●保育理念

「地域で子どもを育てあい、安心・安全なコミュニティの創造ができる保育」

「人が、心が、すべて」という基本理念を原点に、心身ともに健やかな子どもが地域で安心・安全に成長し、家庭に明るさをもたらすような施設の運営を心がけていきます。

保育にあたっては、子どもの人権や主体性を尊重し、子どもが最も幸せな成長を遂げることができるよう、職員一同、保護者、地域の方々と力を合わせより良い保育を目指します。

### ●保育方針

#### ・子どもの自立を促す保育

自主性を大切に見守りながら、子どもの考える力を養えるよう促していきます。

#### ・遊びを通して学びを育てる保育

様々なあそびを体験する中で、いろいろな物・事に対して興味を深めていきます。

#### ・創造豊かな心を育む保育

制作や音楽活動を通して、家庭では出来ない体験をし、創造豊かな心を育みます。

#### ・コミュニケーションを大切にした保育

友達や保育者との関わりの中から、優しさや思いやりの心を育てていきます。

#### ・地域に開かれた保育

行事等を通して地域に人々との交流を深めていきます。

#### ・日本の伝統文化を伝える保育

日々の生活や行事等を通して、文化や季節を伝承していきます。

### ●保育目標

- ・遊びを楽しめる子に
- ・感情表現が豊かな子に
- ・自ら考え、行動できる子に

## 保育事業経営理念

### 1.事業の目的

社会的貢献として、待機児童の解消と共に、適正な料金での保育に対し、より高い質を提供し、企業としての利益を得る

### 2.事業の方向性

「総合生活文化企業」として、働く育児世代のライフスタイルに応じた確かなサービスを提供し、ワークライフバランスを促進する

### 3.事業部の価値観

「保育」の意義と可能性を柔軟に理解し、子どもと保護者に対して、常によりよいサービスを追求し続ける

### 4.顧客に対する姿勢

子どもの変化に敏感に反応できる観察力を持ち、保護者の声には真剣に耳を傾ける

### 5.社員に対する姿勢

事業の目的と社会的価値を理解し、誠実な姿勢でより高い観点での企画・サービスを求める

### 6.地域に対する姿勢

日々の生活の中で、子どもたちの成長を地域社会と共に暖かく見守れる環境にする

## 7.経営理念

少子化問題が進み、核家族化・世帯の小規模化が如実に現れている。そうした中で、共働きの家族が増加し、保育の需要は高まっている。こうした社会背景の中、育児と就労の両立に対する安心感を、ゆるぎなく提供することが、総合生活文化企業としての責務であると考えている。

## 8.社訓

一、お客様に喜びを

一、社員に生活向上を

一、会社に繁栄を

## 保育所施設の基本理念

当社が掲げる、「人が、心が、すべて」という基本理念を原点に、心身ともに健やかな子どもが地域で安心・安全に成長し、家庭に明るさをもたらすような施設の運営を心がけていきます。

## 2. 会社概要

商号	スターツケアサービス株式会社
設立	2003年7月30日
資本金	1億円
代表取締役	吉井はるか
本社	東京都江東区木場5-8-40 東京パークサイドビル12F
事業内容	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)、特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)、サービス付き高齢者向け住宅、小規模多機能型居宅介護、通所介護(デイサービス)、居宅介護支援、訪問介護、介護タクシー、障がい者福祉サービス、シニア賃貸住宅、福祉用具貸与・販売、認可保育園、企業主導型保育園、調剤薬局 (2025年4月現在)

### 3. 保育園概要

種別	保育所						
名称	西荻窪きらきら保育園						
住所	〒167-0053 東京都杉並区西荻南4丁目30番9号						
電話	03-5336-0231						
FAX	03-5336-0232						
Mail	Kirakira_nishiogikubo@starts.co.jp						
施設長氏名	吉川 絵美						
開設年月日	2020年4月1日						
対象年齢	生後57日～就学前児童						
入園定員	67名						
	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
	人数	6名	9名	10名	12名	15名	15名
職員数	施設長	1名	園務をつかさどり、職員の監督をする				
	主任保育士	1名	園長を助け、園長に事故のあるときはその職務を代理する				
	常勤保育士	10名	園児の保育に直接従事する（園児数により変動する）				
	非常勤看護師	2名	園児の健康管理をする				
	非常勤職員	6名	常勤保育士の補助をする（園児数により変動する）				
	事務職員	1名	園の経理など事務全般を行う				
	栄養士	（委託：株式会社魚国総本社）					
	調理員	（委託：株式会社魚国総本社）					
自己評価の概要	職員による保育内容等の自己評価を年2回実施し、保育の質の向上に努めています。						
囑託医	西荻子どもクリニック 楊 康子 所在地：杉並区西荻南4-4-5 電話番号：03-6765-0415						

#### 4. 施設概要

構造	木造（2×4工法）3階建て
延床面積	460.11 m <sup>2</sup> (139.18 坪)
園庭	なし
厨房設備	オール電化厨房
セキュリティー	機械警備・電気錠ドア 学校110番(警察通報装置)

#### 5. 開園日・開園時間・休園日（保育標準時間）

開園日	月曜日～金曜日	土曜日
保育標準時間	7時00分～18時00分	7時00分～18時00分
延長保育	18時00分～20時00分	18時00分～20時00分
休園日	日曜・祝祭日 年末年始（12月29日～1月3日）	

#### 開園日・開園時間・休園日（保育短時間認定）

開園日	月曜日～金曜日	土曜日
開園時間	9時00分～17時00分	9時00分～17時00分
延長保育	7時00分～9時00分 17時00分～20時00分	7時00分～9時00分 17時00分～20時00分
休園日	日曜・祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）	

#### 6. 利用の開始及び終了に関する事項

##### 【2号・3号認定子ども（保育認定）】

利用者の決定	区が行う利用調整による
退園理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2号、3号認定子どもに該当しなくなったとき（卒園含む）</li> <li>・ 保護者から退園の申し出があったとき</li> <li>・ 利用継続が不可能であると区が認めたとき</li> <li>・ その他、利用継続の重大な支障または困難が生じたとき</li> </ul>

## 7. 利用料等

利用者負担(月額保育料)	利用子どもが居住する市区町村が定める利用者負担を市区町村へお支払いください。		
延長保育料	保育 標準時間	1時間延長	杉並区規定による
		2時間延長	杉並区規定による
		スポット料金	(250円/30分)
	保育 短時間	スポット料金	(250円/30分)

※月額料金は当月払いとなります。毎月15日までに当月分をお支払いください。

支払いは、現金またはキャッシュレス決済をご利用いただけます。

※スポット料金は後日払いとなります。用紙に保護者名・園児名を記入の上、事務室までお持ちください。

支払いは、現金またはキャッシュレス決済をご利用いただけます。

※カラー帽子は保育園からの貸与となります。毎年クラスごとに色が変わります。園備えつけの帽子に不安のある方はご購入頂くことも可能です。その際は希望者様のご負担となりますのでご了承ください。

又、紛失してしまった場合は、自己負担購入(1つ¥1,000)となりますのでご注意ください。

※帽子価格は金額の変更がある場合がございます。

## 8. 保育中の怪我や事故について

・保育中にケガや容体の変化等があった場合は、あらかじめ保護者が指定した緊急連絡先へ連絡をします。

・保育中にケガをし、医師の専門的治療を必要と判断した場合は、原則として保護者の方に連絡をした上で、保育園で医療機関を受診します。

・保護者と連絡が取れない場合には、身体の安全を優先させ、当保育園が責任を持って対応致します。

・保険証のマイナ保険証移行に伴い、令和7年度より保育園での保健証写しのお預かり、または受診後のマイナカードのお預かり等はいりません。保育園にて医療機関を受診した際には、ご連絡を入れさせていただきます。保護者の方のご来院をお願いいたします。

やむを得ず受診時間内のご来院が難しい場合には、後日ご家庭にて期日内に受診先医療機関(薬局含む)にご訪問頂き保険証の提示をいただけます様、よろしく願いいたします。

スターツケアサービス(株)では下記の保険に加入をしております。

保険の種類	独立行政法人 日本スポーツ振興センター	公益社団法人全国私立保育園連盟
保険の内容	災害共済給付	園賠償責任保険
保険金額	医療費・・保険診療の医療費総額の4割 障害見舞金・・第1級(4,000万円)～ 第14級(88万円) その他	対人・・1名2億円/1事故10億円まで 対物・・1事故200万円まで

## 9. 不適切保育・虐待の防止について

### (1) 職員の不適切保育防止のための措置

利用する児童に対する虐待を防止するため、保育士に対する研修を行います。

### (2) 家庭における虐待防止のための対応

虐待の前兆を見逃さぬよう、利用児童や家庭の様子に注意を払うとともに必要に応じて関係機関への通報などを行います。また保育士と保護者との交流を通じ、育児への不安や悩みに対し支援を行い育児の負担感を軽減します。

## 10. 個人情報の取り扱いについて

当園で知り得たお子様、保護者様、及びそのご家族等に関する個人情報は、個人情報保護法に基づいて、適正に取り扱いたします。

## 11. その他留意事項

当該重要事項説明書の記載事項に変更が生じる場合には、事前に説明いたします。

## 12. 保育内容に関する相談・苦情

利用時間 9：00～17：00 担当者が不在の場合は、当園職員までお申し出ください。

受付担当者：西荻窪きらきら保育園 主任

問題解決責任者：西荻窪きらきら保育園 園長

東京都杉並区西荻南 4-30-9

TEL 03-5336-0231

FAX 03-5336-0232

運営に関する相談・苦情受付窓口

スターツケアサービス株式会社

東京都江東区木場5-8-40 12階

TEL 03-6880-3270

FAX 03-6880-3261

第三者委員（保育園の運営に関して客観的なご意見をいただきます）

多田 裕昭（ただ ひろあき）

（民生委員児童委員）

東京都杉並区西荻南3-10-10

TEL 03-3333-6032



西荻窪きらきら保育園

園の自己評価

  
スタートケアサービス株式会社

## 西荻窪きらきら保育園の自己評価

【評価の基準】

- A 大変良くできている
- B できている
- C 概ねできているが、今後に向けて改善する余地がある
- D できていない、要改善

記入日： 令和 8年 2月 10日 氏名 大賀知哉

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
に保 つ育 い目 て標	① 保育方針・保育目標は職員間で共有理解を図っている。		○		
	② 保育方針・保育目標が活かされるような保育内容を考えている。			○	
	③ 目標は前年度の反省を活かしている。		○		

○評価の根拠 ●改善策

○保育方針や目標は共有出来ているが、実際に保育にどのように生かされているのか、曖昧な部分がある。月案や週案に落とし込めていないと感じることも多々ある。 ●全体  
計画や年間指導計画が何のためにあるのか、どのように活用すれば良いのかということを、園内研修などで繰り返し伝えていく。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
保 育 内 容 に つ い て	① 計画指導は乳幼児の実態に配慮して作成している。		○		
	② 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○		
	③ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができ、見通しを持ちながら進めているのか。		○		
	④ 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○		
	⑤ 素材・用具を適切に活用しているか。			○	
	⑥ 園内研修は評価結果を基に保育の改善に努めているか。		○		

○評価の根拠 ●改善策

○全体的な計画をもとに年間指導計画や月案を立てるようにしている。また、園児の発達の様子や興味・関心を向ける様子を見ながら環境の工夫をしている。活動の準備をする際に適切な素材や用具を活用しているかについては、まだ不十分だと感じている。(身近にあるものに合わせようとしている)  
●園内研修で、指導計画の立案について繰り返し学んでいく機会を作っていく。また、遊びの中で年齢に合った道具の使い方や素材の生かし方を勉強する機会も作ってきたい。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
つ食 い育 てに	① 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせ、食育計画を立て、実践している。	○			
	② 旬の食材や行事食を取り入れ、様々な食材に触れ、味わえるようにしている。	○			
	③ 評価結果を元に食育の改善に努めている。	○			

○評価の根拠 ●改善策

○保育サポーターを中心に、各クラスの食育活動をまとめて、調理室と相談したり、準備を進めたりすることができたので、次年度以降も生かせる土台ができたと感じている。  
●今期の振り返り、反省を行い、次年度はもっと充実した食育活動を進めていきたい。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
行 事 に つ い て	① 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行で良いか。		○		
	② 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。		○		
	③ 行事のねらいや実施回数などの内容を検討し、改善に努めている。		○		
	④ 計画・実施・評価・改善の体制をとっている。		○		
	⑤ 保護者の願いや意見を取り入れている。		○		

○評価の根拠 ●改善策

○日々の活動や行事に関しては、PDCAサイクルを重要視して進めていくことを考えている。また、行事後には保護者アンケートの協力を依頼し、次年度の改善点へとつなげている。  
●行事担当の職員によっては、打ち合わせや振り返りが不足しているところが見受けられるので、園長や主任による進捗状況などの確認を怠らないようにしたい。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
組織・運営	① 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営委に携わっているか。			○	
	② 職員間の連携がとれ、報告・連絡・相談等ができ、協働できる体制になっている。			○	
	③ 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○		
	④ 職員の意見を聞いたり、話し合う場を定期的に持っているか。		○		
	⑤ 打ち合わせ回数・時間・内容は適切か。		○		
	⑥ 年齢別目標は、保育目標や乳幼児の実施に即して設定しているか。		○		
	⑦ 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	○			
	⑧ 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
	⑨ 評価・資料（記録）を集積しているか。	○			
○評価の根拠 ●改善策					
<p>○職員間の風通しが良く、業務が大変そうなところを皆でフォローしようという雰囲気ができている。</p> <p>○職員会議、リーダー会、行事会議など、定期的に行う会議と必要に応じて行う会議を設定している。</p> <p>●職員によって報連相の意識に差があるので、繰り返し伝えて徹底していきたい。</p>					
項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
保健・安全指導	① 危機管理意識を持ち、緊急時の対応できる体制・マニュアルの作成、保健対策を講じているか。	○			
	② 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか。	○			
	③ 保育士・調理員が連携し、アレルギー児や提供方法等に対する環境・体制にあるか。	○			
	④ 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○		
	⑤ 乳幼児の安全のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○		
○評価の根拠 ●改善策					
<p>○安全計画に基づき、毎月の避難訓練や看護師による保健の勉強会などを行い、記録している。</p> <p>○園だよりや保健だより、コドモンの配信などにより、日々の健康管理や感染症予防について伝えている。</p> <p>●防災対策や不審者対応などの安全面について、お便りや配信だけでは保護者に伝わり切らないことが多いので、保護者会や行事などの直接お伝えできる機会を活用していきたい。</p>					
項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
園内外研修	① 研修は保育目標の具体化につながるものであるか。		○		
	② 園内研修の計画・運営は適切か。			○	
	③ 研修の成果を日常保育に活かし、乳幼児の育ちに反映できているか。		○		
	④ 各研修会・講習会等への参加体制ができているか。		○		
	⑤ 各種研修会・講習会等での内容を園内に報告・還元しているか。		○		
○評価の根拠 ●改善策					
<p>○日々の保育活動の様子を見て、研修内容を検討し、生かせるように考えている。</p> <p>○外部の研修にも積極的に参加できるよう促し、終了後の報告も必ず行うように時間を作っている。</p> <p>●全員で集まれる時間を作れないので、研修内容を周知徹底できるよう、個別に機会を作っていきたい。</p>					
項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
園内情報	① 乳幼児や保護者に関する個人情報を通正に取り扱っているか。	○			
	② 公文書收受・発送・処理を適切に行っているか。	○			
	③ 各帳簿は適切な方法で作成・処理しているか。	○			
○評価の根拠 ●改善策					
<p>○個人情報に関する書類等は、鍵付きのキャビネットに保管する意識を徹底している。</p> <p>●書類の持ち出しなどに関する記録も付けているが、こまめにチェックする意識をもっと高めていきたい。</p>					

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
施設 備設	① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			
	② 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管されているか。		○		
	③ 掲示板・掲示場所を適切かつ効果的に活用しているか。	○			

○評価の根拠 ●改善策

○安全計画に基づき、園内環境や公園の遊具などの点検を定期的に行なっている。  
○各クラスの掲示物を効果的に活用できるよう、各階廊下の掲示スペースを整えた。  
●用具や教材の使い方について、クラスの重複などがないように、週カリ等での打ち合わせを充実させていきたい。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
園外 交流・ 情報	① 積極的に地域の文化や生活に触れ、地域との関係が適切に保たれているか。		○		
	② 乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○		
	③ 事業所職員の保育体験及び保育施設見学を受け入れる時は、その目的や意義を理解・確認しているか。	○			
	④ 保育園から各種便りを定期的に発信しているか。	○			
	⑤ 保護者などから問い合わせがあった場合に、自園または地域の子育て支援に関する情報を提供しているか。	○			
	⑥ 医療機関・児童相談所等の専門機関及び提携園について保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○		

○評価の根拠 ●改善策

○GHとの交流や他園との交流、幼保小連携などに活発に参加するようにしている。こちらから呼びかけて他園の園児と遊ぶ機会も作るようにした。また、その様子を保護者にも伝えている。  
●年齢によっては園児同士の交流が難しいので、担任同士が交流して情報交換ができるような機会を作りたいと考えている。

項目	評価内容	評価			
		A	B	C	D
評外 価部	① 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○			
	② 苦情解決の体制づくりはできているか。		○		

○評価の根拠 ●改善策

○運営委員会では、保護者や地域の第三者委員の方の協力を得て、園の運営について話し合う機会を作っている。また、その議事録を保護者に共有し、意見を募っている。  
●苦情受付の体制はあるが、実際に生かされた経験がないため、体制づくりの見直しの機会が作れていない。

ご意見・ご要望・苦情解決の仕組みについて

当園が提供する福祉サービスについて、ご意見・ご要望又苦情に対し、適切に対応する体制を整え、苦情解決に努めております。

〈保育内容に関する相談・苦情受付窓口〉

〒167-0053 東京都杉並区西荻南4-30-9

TEL 03-5336-0231

FAX 03-5336-0232

受付担当者 : 西荻窪きらきら保育園 主任

問題解決責任者: 西荻窪きらきら保育園 園長

〈運営に関する相談・苦情受付窓口〉

スタートケアサービス株式会社 本部

〒135-0042 東京都江東区木場5-8-40 東京パークサイドビル12階

TEL 03-6880-3270

FAX 03-6880-3261

第三者委員

民生委員児童委員1名

〈公表〉

令和7年度 第三者委員会が招集される相談・苦情はございませんでした。

令和6年度 第三者委員会が招集される相談・苦情はございませんでした。

令和5年度 第三者委員会が招集される相談・苦情はございませんでした。

令和4年度 第三者委員会が招集される相談・苦情はございませんでした。

令和3年度 第三者委員会が招集される相談・苦情はございませんでした。

〈第三者評価結果について〉

東京福祉ナビゲーションにて結果を公開しております。

詳細はこちら> [評価結果 \(fukunavi.or.jp\)](https://fukunavi.or.jp)





## 西荻窪きらきら保育園

# とうきょう すくわくプログラム活動報告 2025 年度

# とうきょう すくわくプログラム活動報告

西荻窪きらきら保育園 1歳児クラス

## 活動のテーマ：異文化交流

活動スケジュール	外部講師による英語のレッスン 月2回 第二・第四水曜日 9:30~11:30 5月(14日・28日) 6月(11日・25日) 7月(9日・23日) 8月(13日・27日) 9月(10日・24日) 10月(8日・22日) 11月(12日・26日) 12月(10日・24日) 1月(14日・28日) 2月(4日・25日) 3月(11日・25日)
子どもへの問い	・食事の際に「これは英語でなんて言うんだっけ？」と問いかけるなど英語に触れる機会を日常の中でも増やすようにしてみた ・レッスンで聞いた音楽を真似して踊ったり歌うなど積極的に行うようにした
準備・環境設定	・体を動かす際に危険の無いように棚を端に動かした ・事前に英語の活動があることを伝えていった
内容・園児の姿・保育者の関わり	・活動が始まったばかりの春ごろは緊張で保育者から離れられない子ども多くいた ・活動の回数を重ねていくに連れて、少しずつ環境や講師に慣れていったのか自ら参加しようとする子が増えていった ・保育者も活動に参加し、楽しい雰囲気を作ることで子どもたちの参加したいという意欲を引き出すようにしていった。  
活動の振り返り	・子どもたちの会話の中で習った単語が出てきたり、自宅でも「英語が楽しみ」と話す様子があるという声を保護者から聞くことが多くなった ・春頃は子どもたちの遊んでいるところに先生が入って一緒に遊ぶという流れだったが、見知らぬ人が近くに来るのは抵抗があったようで先生と触れ合えることそうでない子の差が大きかった。活動内容を歌やダンスを中心にってもらうことで全員が楽しんで参加できるようになってきた。



# とうきょう すくわくプログラム活動報告

西荻窪きらきら保育園 2歳児クラス

## 活動のテーマ：異文化交流

活動スケジュール	外部講師による英語のレッスン 月 2回 第二・第四水曜日 9:30~11:30 5月(14日・28日) 6月(11日・25日) 7月(9日・23日) 8月(13日・27日) 9月(10日・24日) 10月(8日・22日) 11月(12日・26日) 12月(10日・24日) 1月(14日・28日) 2月(4日・25日) 3月(11日・25日)
準備・環境設定	・安全に活動できるよう玩具棚を移動して部屋を広くする。 ・子ども達が落ち着いて参加できるよう、事前に英語教室があることを知らせる。
内容・園児の姿・保育者の関わり	【内容】 10月…ハロウィン 11月…野菜・果物 12月…クリスマス 1月…動物 英語の曲に合わせてダンスをする、英語の歌をうたう、英語絵本の読み聞かせ、英語を使った簡単なゲーム等 【子どもの姿】 子ども達は英語教室を楽しみにしていたが、講師が何度も変わってしまい戸惑う姿も見られた。教えてもらった単語を少しずつ一緒に言おうとする子が増え、楽しむ様子が見られた。 【保育者の関わり】 一緒に参加し、それぞれの子が無理のない範囲で参できるように援助していった。  
活動の振り返り	朝から英語教室を楽しみにし、笑顔で参加することが増えた。反面、毎回講師が変わり、戸惑う姿もあった為、無理のない範囲で参加できるようにしていった。習った英単語を普段の生活の中で言ってみようとする子もいて、少しずつ英語に親しみを持てるようになってきていると感じる。



活動のテーマ：異文化交流

<p>活動スケジュール</p>	<p>外部講師による英語のレッスン                  月2回 第二・第四水曜日 9:30~11:30                  5月(14日・28日) 6月(11日・25日) 7月(9日・23日)                  8月(13日・27日) 9月(10日・24日) 10月(8日・22日)                  11月(12日・26日) 12月(10日・24日) 1月(14日・28日)                  2月(4日・25日) 3月(11日・25日)</p>
<p>子どもへの問い</p>	<p>前日に子どもたちに英語教室があることを伝え、楽しみにできるように声を掛けた。当日は子どもたちが分かりにくい場面では保育者が日本語で略して伝え、理解したうえで楽しめるようにしていった。又、講師との関わりを密にできるようにあえて保育者はあまり多く声をかけず見守っていく時間も大切にした。</p>
<p>準備・環境設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内のテーブルや椅子を片付けて広いスペースでのびのび表現できるようにした。</li> <li>・英語教室の前に前回どのような事を行ったか振り返りの時間を作ってから英語教室に参加できるようにしている。</li> <li>・絵カード、音源、絵本</li> </ul>
<p>内容・園児の姿・保育者の関わり</p>	<p>初めの頃と比べて（英語）とはどんな言葉かを知ることができた。初めて英語を聞いた時には何を話しているかわからず講師を見ている事が多かったが保育者が日本語で略しながら伝えていくと少しずつ講師の言った単語を口ずさむようになった。又、毎回英語の曲でダンスやゲームをするので子どもたちは楽しみながら英語に親しむことができた。帰りの会で毎回一日の振り返りを行っているが英語教室の日は「犬は英語でdog」「今日の天気はsunnyだよ」と覚えた単語を嬉しそうに話す姿も見られている。内容としては季節をテーマに英語教室を進めているので子どもたちもわかりやすく参加している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>活動の振り返り</p>	<p>・子どもたちの好きだった講師が年度途中で変わり、講師が変わった直後は戸惑うこともあった。新講師とも回数を重ねる毎に愛着が湧き月2回のレッスンを楽しみにしていた。次年度は1年通して同じ講師が来ていただけると良いと感じる。覚えた単語を日常生活で見つけると発音したりと一年前よりも英語が子どもたちの身近に感じ、最近では英語の曲を口ずさむ子もいる。</p>

# とうきょう すくわくプログラム活動報告

西荻窪きらきら保育園 4歳児クラス


## 活動のテーマ：異文化交流

活動スケジュール	外部講師による英語のレッスン 月2回 第二・第四水曜日 9:30~11:30 5月(14日・28日) 6月(11日・25日) 7月(9日・23日) 8月(13日・27日) 9月(10日・24日) 10月(8日・22日) 11月(12日・26日) 12月(10日・24日) 1月(14日・28日) 2月(4日・25日) 3月(11日・25日)
子どもへの問い	・英語講師の言葉を真似しながら元気に話してみる。間違っても自分の言葉(英語)で伝えられた事を褒めつつ自信に繋げながら行っていけるようにした。
準備・環境設定	・安全に取り組んでいけるように、部屋を広くしている。 ・英語講師の話が伝わりづらい時には、保育者が必要に応じて日本語で活動の内容、やるべきことを知らせている。
内容・園児の姿・保育者の関わり	・講師の英語を聞いては、自ら真似をして簡単な英語を話してみたり、ダンスや動作を楽しみながらやってみようとする姿があった。わからない英語があった時は講師が話していたヒントや絵カード等をみたり、保育者が日本語で知らせたりしながら理解できるようにし、楽しんで参加できるようにしている。  
活動の振り返り	・講師から教わった英語を吸収しては、日常でも英語でいってみようとする姿があった。 ・毎月配布される英語の手紙を部屋に掲示することで、子どもたちも「つぎはこの英語をするの？」と話したり、絵を見て真似していってみる姿があった。 ・子どもたちも慣れてきた英語講師が来ることを楽しみにする姿

# とうきょう すくわくプログラム活動報告

西荻窪きらきら保育園 5 歳児クラス

## 活動のテーマ：異文化交流

活動スケジュール	外部講師による英語のレッスン 月 2 回 第二・第四水曜日 9:30~11:30 5 月(14日・28日) 6月(11日・25日) 7月(9日・23日) 8月(13日・27日) 9月(10日・24日) 10月(8日・22日) 11月(12日・26日) 12月(10日・24日) 1月(14日・28日) 2月(4日・25日) 3月(11日・25日)
子どもへの問い	・リズムに合わせて講師の動きや言葉を真似する遊びの中で、興味が他のものに逸れてしまう子に対して「〇〇先生が面白そうなことやってるよ」などと声かけして活動に惹きつけたり、子どもたちが分かりにくい場面では日本語で伝えたりしながら、集中できるようにしていった。
準備・環境設定	・活動に集中できるよう、活動前にトイレを促したり、導入として、簡単な英語でのあいさつなどを確認していった。・不要な椅子やテーブルなどを片付け、スペースを広く使えるように整えていった。・英語の歌、英語の絵本、絵カード等
内容・園児の姿・保育者の関わり	・活動の開始とともに落ち着いて講師の話聞き、英語での簡単な挨拶を自信をもって行える姿が増えた。・絵カードを使った発音練習にも慣れ、講師の真似をしながら大きな声で発音しようとする姿が増えた。・講師の英語での説明が理解できていない際には日本語で簡単に通訳し、説明の理解を促している。・英語でのリズム遊びを気に入ると、そのプログラムが終わってもその遊びを続けようとする姿があるため、声をかけて次のプログラムに参加できるようにしている。 
活動の振り返り	・初めは緊張する姿が見られたが、回を重ねるごとに英語に慣れていくことができたり、リズムに合わせて英語を発したり、英語の歌に合わせて体を動かすことを楽しむ様子が増えていった。・簡単な挨拶を英語でしようとする姿や自分の名前を言うことなどに少しずつ自信を持ち、大きな声が出せるようになってきた。・英語への興味を持ち、様々な日本語を英語で何と言うのか、質問する姿も増えていった。